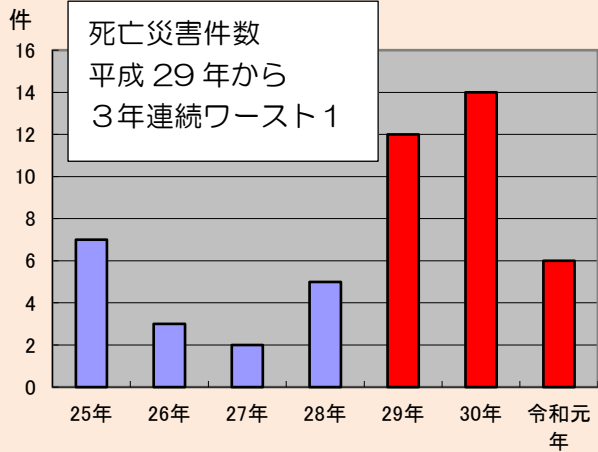




死亡災害!!



当署管内では、2年連続（平成29、30年）で死亡労働災害が増加し、大阪労働局管内の労働基準監督署の中でワースト1となったことから、集中的な取組の実施など、死亡災害の減少に向けた取組を行い、令和元年には死亡災害件数は、6件（前年比－8件）と大幅に減少しましたが、3年連続で大阪労働局管内ワースト1となり憂慮すべき状況が続いています。

今年に入り、5月末現在、3件の死亡災害が発生しています。

当署では、ワースト1返上のため、死亡災害の撲滅に向け「死亡災害撲滅宣言」を発令しますので、事業者の皆様におかれましては、死亡災害を出さないという強い決意のもと、裏面の取組を推進いただきますようお願いいたします。

2019年（令和元年）死亡災害発生の概要（全産業）

東大阪労働基準監督署

番号	発生日	業種	性別	年齢	職種	経験	事故の型	起因物	発生状況
1	2月	一般貨物自動車運送業	男	50代	運転手	10年	その他	起因物なし	配送途中、道路上にて、休憩のため側道で停車していた際、虚血性心疾患により死亡したものの。
2	5月	その他の商業	男	30代	作業員	3年	はさまれ、巻き込まれ	その他の一般動力機械	シャーリングマシンの付属設備である昇降式コンベアのレベル調整を行っていたところ、エアが抜け下降したコンベアとフレームに頭が挟まれた。
3	7月	プラスチック製品製造業	男	60代	プラスチック製品製造工	31年	飛来、落下	荷姿の物	つり上げ荷重1.0015tの床上操作式天井クレーンにて、フレコンバッグに入ったPET原料（約800kg）をホッパーへ投入しようとしたところ、フレコンバッグのつり紐部分4本のうち2本が突然切れたため、落下した荷とホッパーの間に頸部を挟まれた。
4	7月	その他の建築工事業	男	70代	大工	48年	墜落、転落	足場	木造2階建て住宅の屋根に上り、瓦等の点検補修作業を行った後、住宅外周に設置したくさび式足場の建地となる支柱をつたって地上へ下りる途中で足を踏み外し、地上高さ3.48mの箇所から墜落した。
5	9月	その他の建築工事業	男	50代	作業員	1ヶ月	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	建設現場において、コンクリート打設作業を行っていたところ、14時30分頃に被災者が倒れ、救急車で搬送されるも死亡した。
6	10月	一般貨物自動車運送業	男	50代	貨物自動車運転者	3年	飛来、落下	荷姿の物	客先に所属する労働者がフォークリフトを用いて荷の積み替え作業を行っていたところ、荷の一つがバランスを崩し倒れそうになったため、その荷を支えようとしたが支えきれず、荷の下敷きになった。



リスク“ゼロ”大阪推進運動

- ◆ リスク“ゼロ”大阪推進運動は、「災害ゼロ・疾病ゼロの大阪」を実現することを究極の目標として、労働災害の防止、重篤災害の撲滅に向け、働く者すべてがそれぞれの立場で自主的に安全衛生活動を実践し、職場風土と安全文化を構築していくための啓発運動です。
- ◆ この運動は、平成30年度を初年度とする「大阪労働局第13次労働災害防止推進計画」の目標を達成するため、工場、現場、事務所、店舗などの職場に潜むリスクの洗い出しを行い、これに基づき設備の改善、作業手順の見直し、安全衛生教育の実施などの対策の徹底により、災害のリスクをなくし、「正規」「非正規」等の区別無く、全ての労働者の健康が確保され、安全・安心に働くことができる職場の実現に取り組むものです。

◆ スローガン ◆ 『リスク無くして、ゼロ災害』

◆ 期間 ◆ 平成30年度から5か年

～ 取り組もう！ 5つの活動 ～

安全見える化活動

安全 Study 活動

リスク評価推進活動

命綱GO活動

今日も一日ご安全に活動



◆ 安全見える化活動 ◆

- 「年間安全衛生計画」を作成し、実行することにより「安全衛生活動」を見える化する。
- 事業場・現場・店舗等の総点検を実施し、「危険場所」、「危険箇所」及び「危険作業」を見える化する。
- 墜落・転落、転倒、はさまれ・巻き込まれ、切れ・こすれ等の危険場所等を「危険マップ」により見える化する。
- 交通事故の危険を感じた事例（ヒヤリ・ハット事例）の収集と交通KYTや交通安全情報マップの活用などで「交通労働災害防止活動」を見える化する。
- 危険有害物質等の有無（作業環境）、ばく露防止方法等（作業管理）を見える化する。
- ストレスチェック制度をはじめとするメンタルヘルス対策、過重労働による健康障害防止対策等の健康管理活動を見える化する。
- 各企業・事業場・現場・店舗等におけるトップ自らが安全衛生に対する取組を宣言し、すべての労働者と安全衛生意識を共有する。
 - ・建設業における「現場所長安全宣言」を現場の見やすい場所に掲示
 - ・製造業における「工場長安全宣言」を事業場の見やすい場所に掲示
 - ・小売業や飲食店の各店舗における「店長安全宣言」をバックヤードの見やすい場所に掲示

◆ 安全 Study 活動 ◆

- 作業員への安全衛生教育の促進はもとより、各級管理者等に対する安全衛生教育についても計画的に行う。
- 危険体感教育の実施により、作業員の危険感受性を高める。
- eラーニング教材を活用した教育にも取り組む。
- 建設業における送り出し教育を確実に実施する。
- 非正規労働者に対し作業内容を理解させ、安全作業のための雇入れ時の安全衛生教育を確実に実施する。
- 高齢労働者、外国人労働者等においては、身体機能の低下や作業に慣れないことなどによる災害の発生が懸念されることから、雇入れ時教育や危険体感教育等について、それぞれの特性に応じた教育を行う。
- 入職一年未満の経験の浅い者に対する安全作業スキルアップ教育を実施する。
- 労働者自らも進んで安全衛生教育を受講し、危険感受性を高め、健康の保持増進に努める。

◆ 命綱GO活動 ◆

- 建設現場において、安全帯の確実な使用を徹底するため、安全帯試行訓練（作業前に安全帯の点検を兼ねて、単管等にてフックの着脱訓練を行う）を実施する。
- 安全帯使用の重要性を再認識し、墜落危険箇所では作業員間で相互の使用の確認を徹底する。
- 作業床や手すりの設置が困難な場所での作業時に親綱等安全帯取付け設備の設置を徹底する。
- 二丁掛け安全帯を基本に、高所作業における墜落時の衝撃を緩和するフルハーネス型安全帯の使用を徹底する。



フルハーネス型安全帯

◆ 今日も一日ご安全に活動 ◆

- 小売・飲食業の各店舗内に労働災害防止資料が掲示できる安全掲示板を設置し、災害事例等を掲示することなどにより、安全意識の高揚を図る。
- 店長は、職場チェックリストをもとに店舗内を巡視する。
- 小売業には携帯用の安全チェックシート（あきんど安全カード など）、飲食店には携帯用の安全チェックシート（食い倒れ安全カード など）を用い、作業員自らの安全を確認する。
- 交通労働災害を分析し、地域の交差点危険マップ・事故発生マップを作成し、安全掲示板等で周知する。



ご安全に!!

